

産業への新規参入支援を拡充する。福祉用具・機器の研究開発、商品化を進める企業を対象に、福祉用具・機器の導入効果を検証するため実証実験計画や倫理審査申請書類の作成、福祉用具情報システムへの登録などを支援するための研修会を10月と2021年1月に開く。少子高齢化の進展などで需要増が見込まれる産業への参入を後押しし、社会課題解決につなげる。

### 実証計画・審査申請 研修会

福祉用具・機器の普及を図るには、開発品の有効性を示し、選定や使い方を調整する福祉用具専門員など

### 血中細胞分離

工学の知見を医療分野へ橋渡しする。メドリック（名古屋千種区）はナノレベル（ナノは10億分の1）の加工技術を医療に応用するべく2019年1月に設立した。力を入れるのは、血液1ミリリットルに含まれる約60億個の細胞のうち10個程度しか含まれないという血中循環がん細胞（CTC）を分離・採取する自動細胞分取装置（セルソーター）の実用化だ。

## 輝け！ スタートアップ

④7

### メドリック

患者の負担が少ないがん診断手法として、腫瘍組織から血中に入っているCTCを検査する技術が注目されている。既存のセルソーターは

## 微細加工技術 医療に応用

赤血球を溶血除去した血液を狭い管に通して分離するなどの手法が多く、検査する血中細胞の品質を低下させるという。

### 高品質細胞採取

対して、メドリックは直径18ミクロン（マイクロは100万分の1）の柱を無数に並べたマイクロチップに血液を流し、柱と柱の間にCTCを引っかけることで分離する技術を確立した。品質の高い細胞



導が必要と判断し、親子人間生活工学研究会を開くことになり、人にやさしいモノづくりの開発プロセスや手法、人間特性データ、愛知県は次世代を担う成長産業として健康長寿産業の振興を図っている（愛知県庁）

「コロナ後」「時間に柔軟」35%  
日本商工会議所と東京商工会議所は共に「人手が不足している」と回答した企業の割合は36.4%と、新型コロナウイルス感染症の影響が現れ始めた2、3月時点の調査と比べて24.1%低下した。「不足している」と回答した企業の割合を業種別にみると、内訳としては「サービス業」(44.0%)が依然高い。アフター・コロナを見据えて政府が要件や規制を緩和すべき動き方・推進すべき取り組みについては、「時間にとらわれない柔軟な働き方」を挙げた企業の割合が35.9%と多い。内訳としては「フ

日本中小企業経営支援助専門家協会（東京都千代田区、高田垣史理理事長、03・3253・4711）は、24日

を採取することで、リタままCTCを採取すボ核酸（RNA）を詳しく調べるのが可能になり、がんの特性に応じた治療が提案できようになるとい

益田泰輔社長は「生き成をを目指す。実用化

すれば個別化医療の進展は加速するだろう」と益田社長は目を輝かせ、がん診断以外に構造や骨を削る感覚を忠実に再現した。その上で、神経や血管などにセンサーを組み込

「革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）」での研究を基に、アクチュエーターなどの技術基盤を核と

同社は名古屋大学大学院の新井史人教授が持つ微細加工やセンサー



セルソーターの開発を進める一方で、微細加工技術を定量的に計測できる自動細胞分取装置の実用化で個別化医療の進展が加速するだろうと話す益田社長（製造販売する手術訓練用人体モデル「バイオニック・ブレイン」を手

セルソーターの強化に課題を持つ。セルソーターの開発費用を捻出するために、人体モデルの販売強化が必要だ。

メドリックが得意としたのは、（香川）社長の

屋根は

中小・ベンチャー・中小政策

OF STRY